

令和8年度 理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	改訂版 高等学校 生物基礎 (数研出版)						
副教材等	リードα 生物基礎 (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に、実験結果から考察したり、文章化したりして課題に対する思考・判断・表現力を養います。 ・「なぜそうなるのか」「どうしてそうなるのか」という疑問を持つことが大切です。自然や、生物に少し目を向けると普段の生活と勉強する内容が関連づいてくると思います。 ・授業中のプリントやノートには、板書をただ書き写しているだけは好ましくありません。説明している内容や、授業のポイントなどを自分でまとめて書いておくことをお勧めします。
--

2 学習の到達目標

<p>【知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<p>自然の事物・現象、多様な生物について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。</p> <p>観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。</p>	<p>自然の事物・現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導きだした考えを的確に表現している。</p>	<p>自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的根拠をもとに意欲的にそれらを探求しようとする科学的態度を身につけるとともに、課題解決の過程を振り返り、考察を深めたり、自ら評価・改善したりしようとしている。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 生物の特徴	1. 生物の多様性と共通性 生物の多様性, 生物の多様性・共通性とその由来, 生物の共通性としての細胞 2. エネルギーと代謝 生命活動とエネルギー, 代謝とエネルギー, ATP 3. 呼吸と光合成 呼吸, 光合成, エネルギーの流れ, 酵素	a: 細胞の構造が似ていること, 遺伝物質がDNAであること, 代謝を行うには, エネルギーや酵素が必要であることを理解する。細胞の観察を通して, 実験器具の取扱い方を身につけている。 b: ATP が生命活動にどのような影響をもたらすか代謝と関連付けて表現できている。 c: 生物の多様性や共通性について, 興味, 関心をもち, 積極的に探究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	第2章 遺伝子とそのはたらき	1. 遺伝情報とDNA 遺伝情報を含む物質-DNA, DNAの構造 2. 遺伝情報の複製と分配 遺伝情報の複製, 遺伝情報の分配	a: 遺伝情報の分配の過程を理解している。パフの観察を通して, スケッチの書き方, 実験器具の取扱い方を身につけている。 b: 細胞分裂を行う際に, 遺伝子がどのように分配されて, DNA量が保たれているのか, 考察し表現できている。 c: 遺伝情報の複製や分配に興味, 関心をもち, 積極的に探究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
2学期	第2章 遺伝子とそのはたらき	3. 遺伝情報の発現 遺伝情報とタンパク質, タンパク質の合成, 分化した細胞の遺伝子発現, 遺伝情報と遺伝子, ゲノム	a: 転写や翻訳の過程を理解している。 b: セントラルドグマの流れを理解し, DNAとRNAとタンパク質がどのように関連しているのか表現できている。 c: 遺伝情報の発現や維持に興味, 関心をもち, 積極的に探究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

	<p>第3章 ヒトの体内環境の維持</p>	<p>1. 体内での情報伝達と調節 体内での情報伝達, 神経系による情報の伝達と調節, 内分泌系による情報の伝達と調節</p> <p>2. 体内環境の維持のしくみ 体内環境の維持, 血糖濃度の調節のしくみ, 血液の循環を維持するしくみ</p> <p>3. 免疫のはたらき からだを守るしくみ-免疫, 自然免疫, 適応免疫, 免疫と病気</p>	<p>a: ホルモン, タンパク質, 免疫について理解している。</p> <p>b: 恒常性に関連する反応や機構について考察し, 表現できている。</p> <p>c: 恒常性の仕組みについて, 興味, 関心をもち, 積極的に探究しようとしている。</p>	<p>定期考査 確認テスト</p>	<p>定期考査 提出ノート</p>	<p>提出ノート 振り返りシート</p>
<p>3学期</p>	<p>第4章 生物の多様性と生態系</p>	<p>1. 植生と遷移 植生, 植生の遷移</p> <p>2. 植生の分布とバイオーム バイオームの成立, 世界のバイオーム, 日本のバイオーム</p> <p>3. 生態系と生物の多様性 生態系の成りたち, 生態系と種多様性, 生物どうしのつながり</p> <p>4. 生態系のバランスと保全 生態系のバランス, 人間の活動と生態系, 生態系の保全</p>	<p>a: 草本・木本についての知識を身の周りの植生に関連づけ、生態系のしくみを理解している。</p> <p>b: 気候と植生の関連性、植生の変遷、物質循環とエネルギーの流れについて考え、表現できている。</p> <p>c: 身の回りの自然、生態系の成り立ちや、生態系の保全に興味・関心をもち、積極的に探究しようとしている。</p>	<p>定期考査 確認テスト</p>	<p>定期考査 提出ノート</p>	<p>提出ノート 振り返りシート</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度